特集

国体まであと1年。

（第 74 回国民体育大会 ）

第 73 回国民体育大会関東ブロック大会 下妻市開催まであと１０９日。

来年９月に開幕する「いきいき茨城ゆめ国体」。
本市はソフトボール競技（少年男子・女子※高校生）とＥボート競技の開催地です。
１年後には、全国から選手・応援団・大会関係者など多くの人が下妻市を訪れます。
開催地として感動の国体を創り上げるために私たちにできることはー

2018 第 73 回国民体育大会（福井しあわせ元気国体）

2019 第 74 回国民体育大会（いきいき茨城ゆめ国体）

ACTION! 歓迎運動に参加しよう!

ー 01 花いっぱい・きれいなまちー

きれいな場所は心に残るもの。競技会場や沿道・個人の花壇や庭先で花を育て、美しい花で本市を飾り、訪れる方々を”おもてなし”しましょう。また、道路や河川・会場周辺の清掃に取り組み、きれいなまちで訪れる人を歓迎しましょう。

- 市内小中学校でのメッセージプランター作成
- 個人・団体の皆様による花の育成
- 清掃活動

などを計画しています！

ー 02 ボランティア運動ー

受付案内・会場サービス・環境美化・交通整理など、担っていただきたい役割はたくさん！
50 年に一度の祭典で、記憶に残る国体を一緒に作りましょう。

ACTION! 国体に参加しよう!

運営ボランティアに応募いただいた方に、国体に向けての思いなど、お話をうかがってきました。

ボランティアに登録した
広瀬 一江（ひろせ かずえ）さん

ー応募のきっかけー

下妻市でインターハイが開催され、ソフトボールの試合を見に行きました。高校生の皆さんが一生懸命で、とても印象深かったです。

また下妻市で高校生のソフトボール競技が行われると知り、子育ても終わって様々なボランティア活動をしていましたので、さっそく国体の運営ボランティアにも応募しました。

ー大会には、全国から多くの方が下妻市を訪れると思いますが、来場する皆さんに向けて一言ー

遠くから来たのに応援してすぐに帰ってしまうのはもったいないので、砂沼を散策したり、市内の良いところを見ていっていただきたいですね。

茨城県は魅力度ワースト1などと言われていますが、下妻市だけでなく県内各地を見て回っていただいて、新しい魅力に気付いていただければと思います。

ー最後に国体に向けて一言ー

45年ぶりということで、次にまた地元で開催されるのは、ずっと先のことでしょう。滅多にない機会なので、みんなで国体を盛り上げていければと思います。

私は体を動かすことが好きで、30代の頃は毎月登山に出かけ、今は仲間とパークゴルフを楽しんでいます。健康で丈夫な体を作ることは、特に幼児や高齢者に大切だと思っています。

スポーツの大切さや楽しさに、この大会を機に多くの方に気付いていただいて、大会が終わった後でも、下妻市に、スポーツを通じて地域の交流が根付くようなきっかけになれば良いと思っています。

おもいで

45年前にタイムスリップ！

～前回大会の思い出～

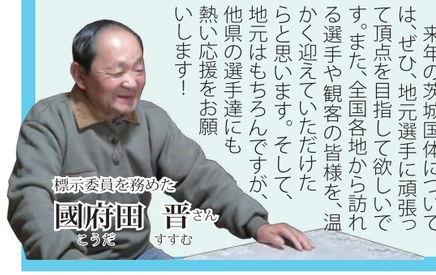
昭和49年の茨城国体へ参加した方々に当時のお話を伺いました。

当時、私は下館南中学校剣道部の顧問をしており、下館市で開催された剣道競技に標示委員（「面」や「小手」など、手持ちの判定札を観客席に向けて表示する係）として参加しました。

文部大臣名で競技役員の委嘱状を受け取った際は、身が引き締まる思いをしたのを今でも覚えています。

標示委員は判定に瞬時に反応しなければならず、連日観客席が埋まる中、「決して間違いがあってはならない」と非常に緊張しており、自分の役目が終わった時には本当にほっとした思いでした。

来年の茨城国体については、ぜひ、地元選手に頑張って頂点を目指して欲しいです。また、全国各地から訪れる選手や観客の皆様を、温かく迎えていただけたらと思います。そして、地元はもちろんですが、他県の選手達にも熱い応援をお願いします！



標示委員を務めた
國府田 晋（こうだ すすむ）さん

PICKUP

ー 03 観戦応援ー

全国トップレベルのアスリートたちが繰り広げる白熱の試合を観客席で観戦し、会場の熱気と感動を肌で感じてみましょう。応援は何よりの力！

ACTION! ストーリーを知って観戦に行こう!

県内屈指の強豪校となり、国体への出場が期待される 下妻第二高等学校男子ソフトボール部小島監督にお話を伺ってきました。

下妻第二高等学校
男子ソフトボール部監督
小島 渉（おじま わたる）さん

ーソフトボール部の監督就任から現在までの経緯について—

下妻二高に赴任するまで15年間三和高校の野球部監督を務めるなど、それまでは野球一筋でしたが、平成16年に下妻二高へ赴任したところ当時の男子ソフトボール部は選手が監督を兼務していたこともあり、私が監督に就任することになりました。

ソフトボールは野球で何とかなるだろう、という想いで指導を始めましたが、なかなか結果が出ず、ソフトボールを一から勉強し始めました。千葉や埼玉、群馬など、強豪チームへ飛び込みで何度も練習試合をお願いしましたが、始めはわけもわからないまま20点差も付けられて負け、それでも、もう一度とお願いし、その度に教えを乞い続けました。

そこから少しずつ、一つ勝てる様になり、二つ勝てる様になり、全国でもいい試合ができるようになってきました。

ー“強豪校”と言われるようになった強いチームを作る指導方針とは—

何度も打ち負かされて、当然選手は悔しかったと思います。そこで、選手には、強い相手を見てとにかく真似をしなさいと指導しました。見て、体験して、真似をする。今の自分たちにはどういう練習が必要か、体感し、自分で考える事が大事だと思います。

全国レベルの試合を経験する中で、トップチームと自分たちのどこに差があるのかは選手たちが一番感じているので、練習などへの取組みは概ね選手たちに任せています。

そのぶん私は、用具の整備や強豪との練習試合、新しいアイデアを取り入れた練習の提案など、選手の成長に必要な環境作りに力を入れました。やるかやらないかは自分たちで考える。自らできるように、その環境は作る、というスタンスで指導をしています。

ー国体について、岐阜国体（平成24年）に出場経験があると思いますが、心に残っていることは—

国体は全国で13チームしか出場できない、とても狭き門の大会です。

そんな中、岐阜国体の予選で26年ぶりの国体出場を果たし、予選の「通過証」を手渡される際、茨城県協会の会長が「まさか自分の手で茨城県のチームに手渡せるとは」と涙を流していたのは、今でも忘れられません。

ー今年の福井国体、来年の茨城国体に向けて、また、現在のチームについて—

今のチームは走攻守のバランスも良く、とても良い状態です。

私は国体の為に下妻二高にいると思っていますので、今年下妻市で開催される関東ブロック大会では、国体本大会への出場権を必ず獲得したいと思っています。また、開催地枠で出場の決定している来年の茨城国体では、応援してくださる市民の皆様や、練習試合でいつも審判をしてくださる市ソフトボール連盟の方々などへの恩返しの気持ちも込めて、何とか1勝を勝ち取りたいです。プレッシャーはありますが、やるしかない、という思いです。

ー国体に向けて、市民の方々や来場される皆様へ—

今年のリハーサル大会や来年の茨城国体をきっかけに、ソフトボールならではのスピード感など、ソフトボールの面白さを皆さんに知ってもらえたらとてもうれしいです。

全国レベルの大会が観られる、またとないチャンス。ぜひ会場で体感してください！

大募集！

前回の茨城国体（昭和49年）思い出募集！

昭和49年に開催された茨城国体の開・閉会式や競技会、炬火リレー、応援など、当時さまざまな形で国体に参加された市民の皆さんの思い出や体験談を、市HPや広報掲載記事として募集しています。

体験談などをお持ちの方は問い合わせ先まで情報をお寄せください。

茨城国体リハーサル大会売店出店者募集！

今年8月に国体リハーサル大会として、「第73回国民体育大会が開催されます。下妻市を訪れる方々にふれあいの輪を広げ、下妻市を広く紹介するため、競技会場内に設置する売店出店者を募集します。

▼売店設置期間・場所
8月18日(土)～20日(月)
予備日21日(火)
・砂沼球場、柳原球場、千代川運動公園のいずれか

▼募集締切
6月15日(金)

▼販売品目
・観光物産品
・飲食物
（アルコールを除く）など

問い合わせ先：
生涯学習課国体推進室
TEL：45-8100